

9/20

革新

市大革新タリ—の機関紙

No. 97

革新タリ—の
書記局発行

平和共存！
安保破棄！
非武装中立！

9.21伊丹斗争にたち スト実行委のもと10.21 ストを準備せよ！

—全国基地闘争と連帯し、明日の伊丹闘争を闘おう—

9月21日、国鉄労働組合が、新宿駅を拠点として、米軍用石油タンク車輸送拒否斗争を展開し、更に、総評は全国にある米軍・自衛隊基地撤去斗争を展開する。

70年を目前に控えて、昨年以降、板付、壬午、広、山田等々の基地に反対する闘いが激化している。このような状況の中で、政府は去る9月11、12日に日米安保協談会を開き、在日米軍基地の統廃合を検討し、より一層の基地の質的強化を図ろうとしている。わたしたちは、日本の労働者が、ベトナム侵略をはじめ、アジアに戦争の火の粉をかりまいてる基地を撤去する

運動に、組織的に立ち上りつつあることを高く評価すると共に、わたしたちも彼らと一緒に、全学をあげて立ち上る必要があると考える。わたしたちはすでに、伊丹での闘いを八月以降、地元市民・労働者と共に闘ってきました。これまでの闘いの成果の上に、全面的な対政府斗争として、明日の伊丹空港軍事使用反対の斗争をかちとろう。

自治会共闘の機の下、国鉄労働者はじめ、全国の労働者と連帯し、伊丹斗争を闘おう！

—早急にスト実行委を開き、10.21を準備せよ—

わたしたちが、これまで「革新」で主張してきた、10.21スト斗争委員会設置が、一昨日の代議院会で圧倒的に可決された。

今夏7日の全国自治会代表者会議において、この10.21斗争を、反戦・反安保、沖縄返還、戦犯佐藤内閣打倒の全国労働者、学生ゼネストとして闘うことを確認した。

市大における教養ストライキ、シニア拠点授業放棄を勝利的に成功させるために、このストライキ斗争委の任務はきわめて重大である。ストライキ斗争委のもと、各クラス代議員はもちろんのこと、全てのクラス

の活動家、先進的学友をくくめ、日々のクラス討論の点検と、問題点の整理を行い、クラス討論の全体的発展のためのあらゆる任務を集約し、行う。ここに於て、できるなら、各クラスに使う討議資料の作成、情宣を議長団の責任のもとに行う。これらの諸任務は、元来、中執、書記局のもとに責任をもって行われるべきものであるが、現任の中執の機能及び、自治会民主化委員会が空相化されつつある中で、10.21を全学的に闘うため、自治会民主化委員会を回復するために、唯一の、そして最良の道である。

ただちにスト斗争委を開き、その恒常的活動をかちとろう。

クラス討論をおこし、スト実行委のもとに結集しよう。